

まちづくりキャッチフレーズ 人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」



夜空にきらめく 冬の魔法

ドリームイルミネーション／寺谷

このイルミネーションは、寺谷の塚根さんが自宅の庭に作成されたもので、サンタクロースやクリスマスツリーがにぎやかに輝いています。

塚根さんは、倉吉まちづくり協議会が毎年開催している「ドリームイルミネーションコンテスト」で“マイスター”の称号を受けられたベテラン。今年も10月ごろから家族と協力して飾りつけ、12月1日には点灯式を行いました。

ドリームイルミネーションコンテストの応募作品は、出品者の協力により、12月15日から1月5日まで市内各所で点灯します。コンテストの結果と応募作品の場所は、12月下旬に倉吉まちづくり協議会ホームページで公開される予定です。

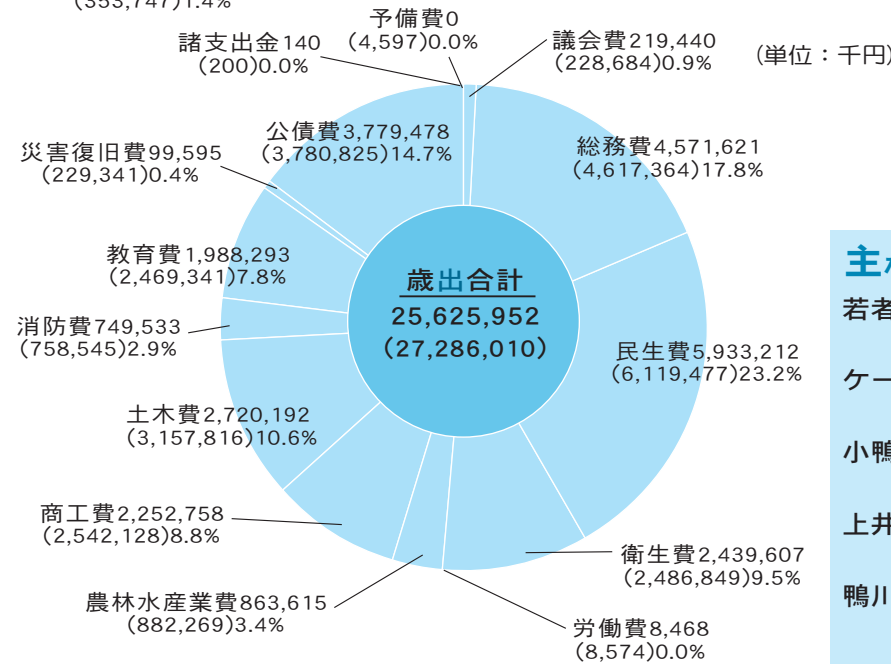
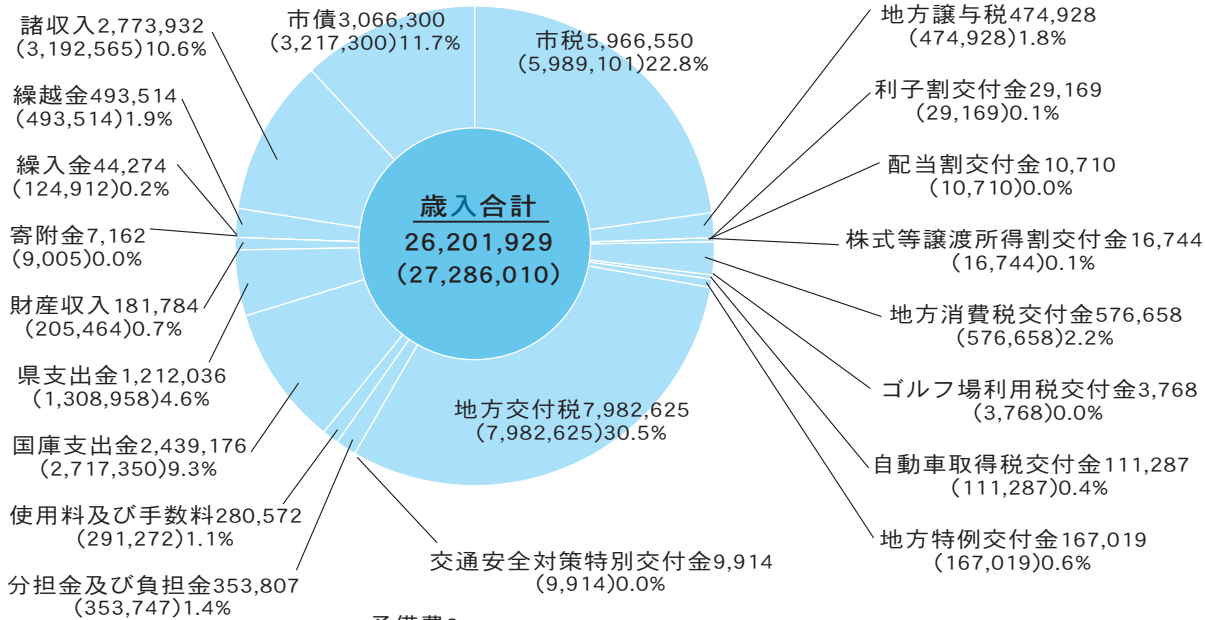
CONTENTS

- 平成17年度決算の概況 ……2～4
- 平成18年倉吉市政主要ニュース ……5
- 水道局からのお知らせ ……6
- ソナチャン・イヤギ／地区の話題 ……7
- 指定管理施設からのお知らせ／地産地消 …8
- インフォメーション ……9～12
- あんしんファイル ……13
- 若者の定住化に向けて／人口 ……14

一般会計決算

() : 予算額
% : 全体に対する割合

(単位：千円)



主な事業

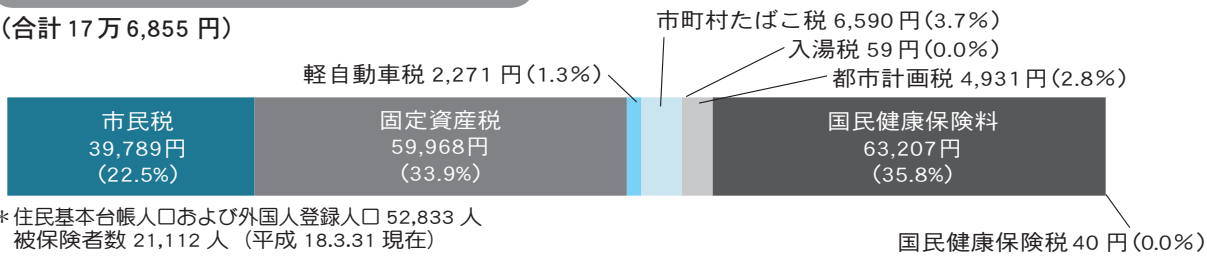
- 若者の定住化促進基金創設 13億7,000万円
- ケーブルテレビ整備補助 2億6,915万円
- 小鴨小学校建築 1億2,217万円
- 上井再開発住宅整備 1億8,734万円
- 鴨川中学校体育館建築 1億5,818万円

若者の定住化促進基金創設／ケーブルテレビ整備補助／上井再開発住宅整備などを実施

平成17年度決算の概況

市税などの住民一人当たり負担額

(合計 17万 6,855 円)



* 住民基本台帳人口および外国人登録人口 52,833 人
被保険者数 21,112 人 (平成 18.3.31 現在)

一般会計

平成17年3月22日に関金町と合併し、平成17年度は新市の実質的な初年度となりました。効率的な財政運営に配慮しながら、新市の発展と市民の福祉向上に努めました。

決算額については、歳入総額2億2億193万円、歳出総額2億5億2,595万円であり歳入歳出差引は5億7,598万円、また、翌年度繰越額は9億9,184万円となりました。

決算した主な事業は、若者の定住化促進基金創設13億7,000万円、ケーブルテレビ整備補助2億6,915万円、小鴨小学校建築1億2,217万円、上井再開発住宅整備1億8,734万円、鴨川中学校体育館建築1億5,818万円などです。

特別会計

国民健康保険事業

歳入総額は48億9,913万円、歳出総額は47億8,687万円であり、歳入歳出差引は1億2,226万円でした。

歳入では、保険料および保険税13億593万円、国庫支出金17億902万円、一般会計繰

都市計画税の充当割合

(単位：千円)

項目	決算額
支出	
街路費	662,308
公園費	4,972
下水道費	636,404
土地区画整理費	3,783
公債費	2,068,475
合計	3,375,942
収入	
特定財源	2,072,227
都市計画税A	256,489
一般財源等B	1,047,226
合計	3,375,942
充当割合	$A / (A + B) \times 100$
	19.7%

■都市計画税は、都市計画事業または土地区画整理事業に必要な費用に充てるため、都市計画区域のうち、用途地域内に所在する土地および家屋に課す税金です。

入湯税の充当区分

(単位：千円)

項目	決算額	充当額
環境衛生施設の整備	17,474	0
鉱泉源の保護管理施設	0	0
消防施設等の整備	10,469	0
観光施設の整備	0	0
観光振興	23,670	3,254
合計	51,613	3,254

(うち入湯税の充当事業)

倉吉市観光協会補助金	1,922	1,922
とっとり梨の花温泉郷連絡協議会負担金	1,400	1,332

■環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課する税金です。

沿道土地区画整理事業
 歳入総額は8億9,372万円、歳出総額は6億3,692万円であり歳入歳出差引は2億5,680万円、また翌年度繰越額は2億6,555万円となりました。
 歳入では、公共施設管理者負担金2億7,122万円、一般会計繰入金3,528万円、市債5億8,710万円、歳出では、物件移転等補償費4億7,163万円、工事請負費1億4,556万円が主なものです。

上井羽合線
 歳入総額は10億5,244万円、歳出総額は10億5,244万円、また翌年度繰越額は7,522万円となりました。
 歳入では、事業費分担金3,580万円、使用料及び手数料7,876万円、県支出金2億4,411万円、一般会計繰入金2億8,480万円、市債3億6,910万円、歳出では、集落排水施設整備工事5億5,980万円、公債費3億2,768万円が主なものです。
 ◎そのほか特別会計については、順調に運営しています。

(3)平成 18.12.15

特別会計決算

(単位：千円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	4,906,195	4,899,128	4,786,867
介護保険事業	3,794,192	3,798,845	3,726,046
老人保健事業	6,144,064	6,144,061	6,144,061
簡易水道事業	202,170	198,473	198,473
温泉配湯事業	7,639	7,706	5,490
住宅資金貸付事業	143,092	144,425	94,415
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業	4,932	5,270	4,929
土地取得事業	54,003	1	1
上井羽合線沿道土地区画整理事業	907,300	893,715	636,915
下水道事業	3,481,467	3,429,343	3,428,892
駐車場事業	33,653	33,501	33,501
集落排水事業	1,093,307	1,005,244	1,005,239
高城財産区	3,760	3,394	2,584
小鴨財産区	855	703	703
北谷財産区	158	158	0
上北条財産区	31,425	31,168	1,080

企業会計決算

【水道事業】

(単位：千円)

	予算額	決算額		予算額	決算額
収益的収入	1,026,857	1,030,719	資本的収入	164,995	158,463
収益的支出	1,015,716	992,927	資本的支出	489,510	452,151

【国民宿舎事業】

(単位：千円)

	予算額	決算額		予算額	決算額
収益的収入	274,061	245,560	資本的収入	-	-
収益的支出	299,407	274,538	資本的支出	50,298	50,298

介護保険事業

歳入総額は3億7,988,550円、歳出総額は3億7,605,280万円であり、歳入歳出差引は7,280万円となりました。
 歳入では、介護保険料4億9,224万円、国庫支出金10億2,067万円、県支出金4億7,749万円、支払基金交付金11億9,251万円、一般会計繰入金5億8,822万円、歳出では、保険給付費3億6,102万円が主なものです。

下水道事業

歳入総額は3億4,934,900円、歳出総額は3億4,889,000円であり、歳入歳出差引は45,900万円、また翌年度繰越額は2,275万円となりました。
 歳入では、事業費負担金1億1,147万円、使用料及び手数料7億6,239万円、国庫支出金7,500万円、一般会計繰入金12億9,720万円、市債10億8,640万円、歳出では、管渠築造などの工事請負費5億8,500万円、流域下水道維持管理費4億4,040万円、公債費20億7,770万円が主なものです。

平成17年度 貸借対照表 (バランスシート)

(平成 18 年 3 月 31 日現在) (単位：千円)

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	3,957,671	(1) 地方債	31,267,485
(2) 民生費	3,436,493		
(3) 衛生費	389,496	(2) 債務負担行為	
(4) 労働費	175,177	①物件の購入等	0
(5) 農林水産業費	6,780,038	②債務保証又は損失補償	0
(6) 商工費	1,439,185	債務負担行為 計	0
(7) 土木費	41,175,535		
(8) 消防費	206,881	(3) 退職給与引当金	3,936,264
(9) 教育費	22,283,213		
(10) その他	557,503	(4) その他	0
計	80,401,192		
(うち土地)	26,583,427)	固定負債 合計	35,203,749
有形固定資産 合計	80,401,192		
		2. 流動負債	
2. 投資等		(1) 翌年度償還予定額	3,131,644
(1) 投資及び出資金	714,514	(2) 翌年度繰上充用金	0
(2) 貸付金	1,501,619		
(3) 基金		流動負債 合計	3,131,644
①特定目的基金	3,225,553		
②土地開発基金	442,696	負債 合計	38,335,393
③定額運用基金	1,950		
基金 計	3,670,199		
(4) 退職手当組合積立金	0		
投資 合計	5,886,332		
		〔正味資産の部〕	
3. 流動資産		1. 国庫支出金	14,944,377
(1) 現金・預金		2. 都道府県支出金	7,531,771
①財政調整基金	588,660	3. 一般財源等	28,314,350
②減債基金	752,118		
③歳計現金	883,129	正味資産 合計	50,790,498
現金・預金 計	2,223,907		
(2) 未収金			
①地方税	439,045		
②その他	175,415		
未収金 計	614,460		
流動資産 合計	2,838,367		
資産 合計	89,125,891	負債・正味資産 合計	89,125,891

国・地方の財政状況が大変厳しい状況にある中で、市民の皆さんに、市の資産や負債の状況を知っていただくことを目的に、貸借対照表を公表しています。

現在の会計制度のもとでは、民間企業と同様なものを作成することは困難ですが、より分かりやすい情報の提供を行うよう努めていきたいと考えています。

市の資産と負債の状況は・・・

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入等	61,880千円
②債務保証及び損失補償	216,776千円
③利子補給等に係るもの	0千円

▶昨年度と比べて資産が3億4千万円程度の増額になっています。基金が15億5千万円の増額となっていますが、これは若者の定住化促進基金を創設したためです。また、有形固定資産は16億4千万円の減額となっています。

有形固定資産で減額が大きかったのは農林水産業費と土木費でそれぞれ7億2千万円と4億1千万円の減額でした。これは平成17年度に行った建設事業に比べ、減償却額が大きいためです。

負債は全体で5億4千万円の増額になっています。これは合併特例債(若者の定住化促進基金創設など)の発行などにより、地方債残高が増加したためです。正味資産は差引で1億9千万円減額になっています。

